

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
医療事務科											
ワークショップ											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	加藤秀樹			実務経験	無	職種					
授業概要											
グループワークを通じて協力しながら問題解決に取り組みます。											
到達目標											
グループワークを通じて、協力しながら作業を進めることが出来る											
授業方法											
グループワークを行い、授業毎の課題に取り組む。											
成績評価方法											
課題、授業への取り組み等を含めて総合的に評価する。											
履修上の注意											
グループワークを通じて、自らが作り上げる授業。受け身の気持ちではチームとしての作業も進まない。自らがチームの一員であるという事を意識し、協力し合いながら授業に取り組むこと。授業中の私語や受講態度などは厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により内容が前後する場合もある。											
教科書教材											
適時、プリントを配布											
回数	授業計画										
第1回	グループワークとは(数人グループに分け、テーマに沿って共同で作業することを理解する)										
第2回	グループワークの進め方（１）（時間配分と役割分担（リーダー、書記、タイムキーパー）を理解する）										
第3回	グループワークの進め方（２）（議題の方向性の理解と議論のスムーズ化を理解する）										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
医療事務科	
ワークショップ	
第4回	グループワークの進め方（3）（意見やアイデアを整理・選択することを理解する）
第5回	グループワークの進め方（4）（グループの中で役割分担を決め、全員で協力して作業を進めることができる）
第6回	グループワークの進め方（5）（結論をまとめて発表の準備ができる）
第7回	グループワークの進め方（6）（グループで答えを導き出し、説得力のあるプレゼンができる）
第8回	グループワークの心得（1）（チームワークを意識できる）
第9回	グループワークの心得（2）（発言の量に配慮できる）
第10回	グループワークの心得（3）（自分の性格や周りの性格を見極めることができる）
第11回	グループワークの実践（1）（数名のグループで議題に従い、話し合った結果を成果物として発表する）
第12回	グループワークの実践（2）（数名のグループで議題に従い、話し合った結果を成果物として発表する）
第13回	グループワークの実践（3）（数名のグループで議題に従い、話し合った結果を成果物として発表する）
第14回	グループワークの実践（4）（数名のグループで議題に従い、話し合った結果を成果物として発表する）
第15回	振り返り（これまでの授業内を振り返る）